

令和3年度 第75回関東高等学校女子バスケットボール大会

令和3年6月12日(土) Aブロック 1回戦 ALSOKぐんまアリーナ Dコート 第4試合

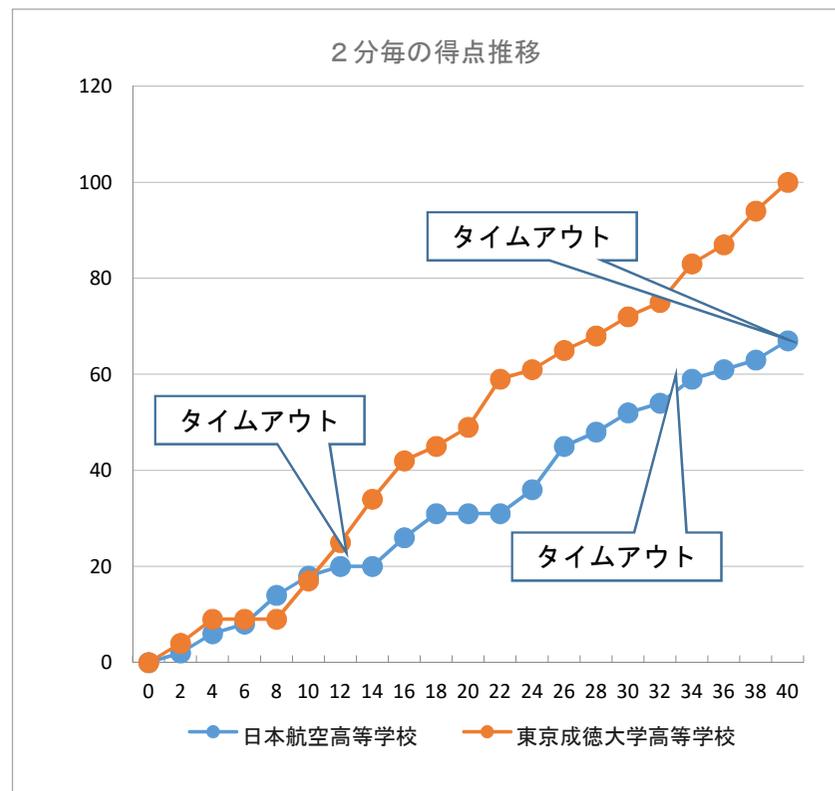
チームA	67	18 1st 17	100	チームB
日本航空高等学校 (山梨県)		13 2nd 32		東京成徳大学高等学校 (東京都)
		21 3rd 23		
		15 4th 28		
		OT		

Aチーム： 日本航空高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		1	吉岡 桜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2		7	三保 結衣	6	0	0	2	2	2	2	4	0	0	0
3		8	和知 萌々華	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4		13	木村 柚月											
5		16	稲熊 彩瞳											
6		18	荒井 しおん											
7		21	後藤 梨音	3	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1
8		23	中村 萌愛	4	0	0	2	2	0	0	1	0	1	1
9		24	RUTH GIFT EZEKIEL	26	0	0	12	12	2	2	3	7	12	19
10		30	小島 れん	21	1	1	5	5	8	8	5	1	4	5
11		32	唯井 知奈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12		39	浅見 咲良											
13		58	小林 遥	7	0	0	3	3	1	1	3	0	2	2
14		73	伊藤 芹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
15		81	吉田 玖瑠未	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HC/TEAM			蒲生 壮扶											
合計				67	1	1	25	25	14	14	17	8	21	29

Bチーム： 東京成徳大学高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		4	佐坂 光咲	15	3	3	3	3	0	0	3	0	4	4
2		5	古谷 早紀	25	0	0	9	9	7	7	3	3	3	6
3		6	高山 茉夕	9	1	1	3	5	0	0	1	1	1	2
4		7	原 美月	10	0	0	5	3	0	0	4	2	1	3
5		8	山宮 好葉	9	1	1	3	3	0	0	3	0	3	3
6		9	尾崎 理咲	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2
7		10	高實子 わこ	6	0	0	2	2	2	2	4	3	1	4
8		11	天野 希咲	15	3	3	3	3	0	0	4	2	1	3
9		12	山内 彩加											
10		13	古澤 英琉	10	2	2	2	2	0	0	1	0	1	1
11		14	菊地 彩里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12		15	野崎 楓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13		16	奥山 奈津											
14		17	鈴木 若菜											
15		18	高松 花葉											
HC/TEAM			小林 康裕											
合計				100	10	10	30	30	10	10	24	12	16	28



戦評

記者者：須藤 毅 (群馬県高体連)

1Q:両チームともにハーフコートマンツーマンディフェンスで試合開始。日本航空は#24の力強いプレイでインサイドから得点を狙う。#24をスクリーナーに使い、アウトサイドからのシュートも決まる。一方の東京成徳は高い位置からプレッシャーをかけ、相手のインサイドへのパスを奪いにかかる。切り替えの早いオフェンスで応戦し、18-17で日本航空が1点リードで終了。

2Q:東京成徳は#6の3Pで得点を決める。#4と#6を中心に攻め立て、残り8:03、東京成徳が25-20と5点リードしたところで日本航空がタイムアウトをとる。日本航空が#30のドライブなどで崩しにかかるも、東京成徳がインサイドへのパスのインターセプトでリズムを掴ませない。日本航空が2-2-1プレスで応戦するも、東京成徳が攻守の切り替えで上回り、5分で一気に突き放す。49-31の東京成徳16点差で前半終了。

3Q:東京成徳はパスを回しインサイドの#5を活かしたオフェンスで優位にゲームを進める。日本航空は残り9:10にタイムアウトをとる。#24と#30を中心に攻撃を組み立て、2-2-1プレスで諦めずにプレッシャーをかけ、差を詰めていく。東京成徳はディフェンスでも手を緩めず、手堅く着実に得点を重ねる。72-52の20点差で最終Qへ。

4Q:日本航空はインサイドで#24の高さを活かしたオフェンスを展開する。#23と#30のシュートで応戦し、諦めず最後まで攻める。切り替えの早いオフェンスとインサイドでの攻防でも上回った東京成徳が100-67で勝利した。

主審	第1副審	第2副審
古畑 香子 (指名)	藤本 梨沙 (神奈川県)	星野 友幸 (群馬県)